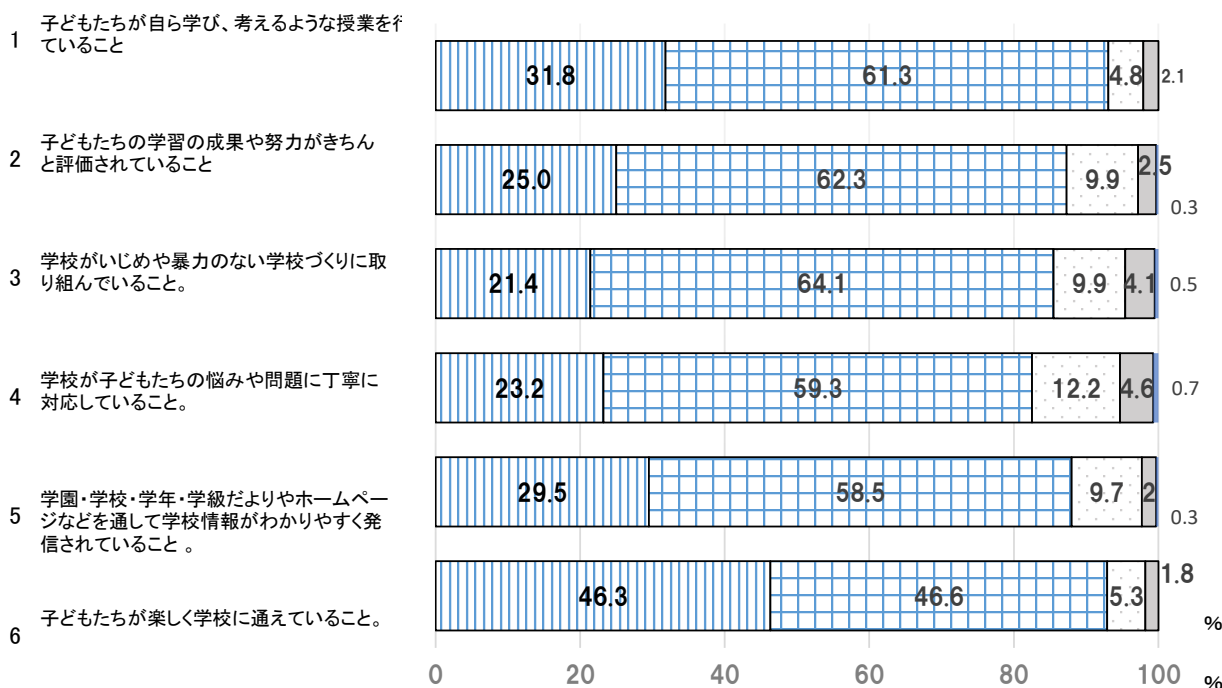


令和7年度 三鷹中央学園 学園・学校評価アンケートまとめ

【第三小学校】

アンケート実施日	: 令和7年10月24日～11月4日
アンケート対象者	: 第三小学校保護者
回収率	: 393 / 児童数737 (53%)

よく出来ている
 大体出来ている
 あまり出来ていない
 出来ていない
 未回答
 はい
 いいえ



アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計
 ※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

成果

- ・昨年度の引き続き、全項目の肯定的評価が80%を超えていることから、継続的な学校の取組に評価をいただいていると考える。特に「自立した学び舎 三小スタイル」を掲げた学習の取組は、3年目を迎え児童にも定着しており今後のさらなる成長が見込まれる。教員が入れ替わりながらもフリースタイル総合や自由進度学習などの自立した学習スタイルを継続することができている。
- ・学年担任制の取組が定着し、児童・保護者ともに学年のどの先生にも相談できるようになっている。学校全体がチームとなり、複数の目で児童を見守ることで、学習面で個に応じた支援ができるようになっている。
- ・情報については、丁寧な発信を心がけていることが、一定の評価につながっている。さらに工夫した、わかりやすい発信を心がけていく。

課題

- ・児童の自立した学びの取組は、学習としての効果は高いものの、教職員の負担や学習ボランティアへの依存が高まっているように感じる。学習の方向性はぶれずに、継続していくためにも、持続可能な方法を模索していく必要がある。
- ・児童の安心、安全にかかわる項目が前年度並みか下がっている。行動特性のある児童への個別の支援の充実の必要性を感じている。学校全体でカバーしあうことができる組織運営や学年担任制を活かした取組で改善を図っていく。
- ・不登校の児童や不登校傾向のみえる児童が複数みられる。学校だけでなく、関係機関と連携しながら改善を図るとともに、魅力ある学年・学級づくりを通して未然防止に努める。
- ・今年度に入って外国籍の児童が複数転校してきた。親子ともに日本語が不自由な場合もあり、対応に困っている。日本語指導など充実させることで、児童の成長を促していく。